

特集展示・トピック展示のご案内

長崎歴史文化博物館では、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しく願い申し上げます。

特集展示「くんち三八二年展」

特集展示「くんち三八二年展」

会 期：2016年9月3日(土)～10月16日(日)
時 間：8:30～19:00 (最終入館18:30)
会 場：美術展示室
(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)
観覧料：大人600円、小中高校生300円
※県内小中学生は無料
展示点数：約30点

長崎くんちは1634年(寛永11)、二人の傾城が能を奉納したことを始まりとします。1705年(宝永2)、お下りを中心とする神事の原型が整えられました。2016年の踊町は上町、油屋町、元船町、今籠町、鍛冶屋町、筑後町の6カ町です。華やかな傘鉾は町のシンボルとして、また町の守護霊が宿る神聖な飾りとして行列の初めに置かれます。お下り・お上りの際には、傘鉾も人々と神輿のお供をします。町の統併合によって、かつて姿を見せていた傘鉾は歴史資料の中に見られます。

江戸時代には、くんちの行列の中に大薩摩や踊りのための舞台等、現在見ることのない演し物や装置が並んでいました。今年、奉行所では江戸時代の長崎くんちがよくわかる「崎陽諏訪明神祭祀図」(大阪府立中之島図書館蔵)を原寸大パネルなどで展示いたします。くんちの歴史はもちろんのこと、行列に注目した展示もみどころです。



トピック展示「内国勸業博覧会」



トピック展示「内国勸業博覧会」

展示期間：2016年9月21日(水)～11月20日(日)
時 間：8:30～19:00 (最終入館18:30)
会 場：近代化の魁・長崎コーナー
(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)
観 覧 料：大人600円、小中高校生300円 ※県内小中学生は無料

明治政府は、富国強兵・殖産興業政策の一環として内国勸業博覧会を企画しました。内務卿・大久保利通が総裁として主導し、1877年(明治10)に第1回内国勸業博覧会が上野公園内で開催されました。西洋技術・文化の集積地であった長崎からは、高島・端島炭坑の石炭、陶磁器、カラスミ、美術品のほか、上野彦馬が撮影した写真等が出品されています。本展示では、内国勸業博覧会を題材に、長崎の近代化と産業振興について紹介します。

